

# 二〇二六年度 大東文化大学日本文学会 春季大会

〔日時〕 二〇二六年六月十九日(金) 午前十時より  
〔会場〕 大東文化大学 板橋校舎 一〇三〇一教室

午前の部(午前十時より)

○開会の辞

日本文学会代表 山口 敦史

○研究発表

中古 小野小町歌 「花の色は」考

徳植ゼミ 三浦 和香奈

中世 「鬼」は「神」か ― 鬼子母神に見る鬼神から神への変容―

田村ゼミ 白井 健太郎

近現代 『地獄変』における語りの構造

藤尾ゼミ 相川 琳

日本語 アニメタイトルの略称について

富樫ゼミ 夏井 琉治

比較 日本のヒットソングにみる時代の空気

大西ゼミ 西村 光平

比較 探偵小説が「新本格」に至るまで

千葉ゼミ 平井 蒼弓

午後の部(午後一時十五分より)

大学院 スサノヲと氷川神社 ― 治水神的要素を中心に― 博士課程前期一年 佐藤 瑠音

○講演会

聖徳太子の伝記と絵解きの世界 龍谷大学客員教授・研究フェロー 阿部 泰郎先生

○総会

○閉会の辞

日本文学会幹事会 糸川 桃夏

- ・大会の終了時間は、午後四時十五分を予定しております。
- ・日本文学科の学生は、当日、大会参加をもって授業の出席扱いとなります。